



2024年7月11日

各位

会社名 マニー株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 齊藤 雅彦
(コード: 7730 東証プライム市場)
問い合わせ先 執行役常務CFO 橋本 尚久
電話番号 028-667-1811

代表執行役社長の異動に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、代表執行役社長の異動について決議いたしましたので、お知らせいたします。

本件については、2024年11月25日に開催予定の第65期定時株主総会および同日開催の取締役会において正式に決定する予定です。

記

1. 異動する代表執行役の氏名及び役職名

氏名	新役職	現役職
齊藤 雅彦 (サイトウ マサヒコ)	執行役会長	取締役兼代表執行役社長
渡部 眞也 (ワタナベ マサヤ)	取締役兼代表執行役社長	社外取締役 取締役会議長

補足

- ・ 現代表執行役社長である齊藤 雅彦は取締役から退任いたしますが、新たに代表権を有さない執行役会長に就任いたします。新製品開発・スマートファクトリー建設・人材育成などの面で引き続き業務執行を行いながら、新代表執行役社長をサポートします。
- ・ 取締役会議長については、2024年7月11日付で社外取締役である光定 洋介に交代いたします。詳細は本日開示した適時開示資料「取締役会議長の異動に関するお知らせ」を合わせてご参照ください。

2. 就任予定日

2024年11月25日

3. 異動の目的および理由

当社グループは、「世界一の品質を世界のすみずみへ」という使命を掲げ、独自の医療機器を広く世界に提供し、世界の人々の幸福に貢献することを目指しています。創業以来、既往製品のシェアを拡大しながら新製品を上市することにより、着実に息の長い成長を遂げてきました。また、成長と同時に独自の製

品戦略や東南アジアへの生産シフト等により 30%超の高い営業利益率を実現し、強固な財務基盤も築き上げてきました。

当社グループのさらなる成長および企業価値の向上に向けて、2021年4月に公表した中期経営計画では、業績目標達成はもとより、開発・生産・営業の各機能におけるプラットフォームを劇的に進化・変革させることで「ビジネスモデルの変革」を行うことを目指しております。「世界一の品質」を文字通り「世界のすみずみへ」届けることを実現し、「企業理念」の具現化と「開発型ニッチ企業の集合体」から「真のグローバル企業」への進化のための取組みを強力に進める必要があります。

足下の業績は順調に推移していますが、5年、10年先を視野に入れたうえで当社グループを取り巻く事業環境の変化を考慮すると、開発・生産・営業の各機能におけるプラットフォーム変革（注）をさらにドラスティックに行い、かつそれぞれの取組みを加速していくため、大胆な「マネージメント・プラットフォーム改革」、すなわち組織体制や事業運営の強化・変革が必要と認識しております。

その考え方にに基づき、社内での企業文化の変革を進める一方で、それを推進する執行側に新たな息吹を導入し、スピード感を伴った実行力を備えることが不可欠です。近時、マニーにとって不可欠なマネージャークラス人材の積極採用に加え、他社での豊富なマネージメントの経験と実績を備えた方々を役付執行役（執行役専務・執行役常務）として迎えています。

以上を踏まえ、マニーが強みとする高品質なモノづくりと顧客である医療業界の両方に精通し、強いリーダーシップとコミュニケーション力を持ってマネージメント・チームおよび全社を牽引し、「プラットフォーム改革」を強力に推進できる新代表執行役社長が強く望まれます。

現在取り組んでいる2026年8月期を最終年度とする中期計画において、売上高・営業利益・ROE等の業績は順調に進捗しています。一方で、目標である「真のグローバル企業」への変革や企業文化の変革に関わる諸施策については幾つかの点で見直しや強化が必要です。また、現在策定中の2026年以降の次期中期経営計画では、マニーをより高い新たな成長ステージに進化させることが期待されます。マニーの価値創造プロセスはそのサイクルが長く、一定の時日をかけて戦略的かつ包括的に事業基盤を強化し成長戦略を展開していくことが重要であることから、このタイミングで代表執行役社長を交代し、新体制のもとで変革を確実・強固なものとしさらに加速していくことこそが当社の企業価値向上に資すると判断いたしました。

（注）2021年4月に発表した中期経営計画や各プラットフォームの概要図（マネージメント・プラットフォーム改革について加筆した概要図）は5ページをご参照ください。

なお、本文中の開発・生産・営業プラットフォームはそれぞれ下記のとおりです。

- ・ 開発プラットフォーム：製品戦略、技術戦略
- ・ 生産プラットフォーム：生産戦略、技術戦略
- ・ 営業プラットフォーム：地域戦略、顧客戦略、製品戦略

4. 新たな代表執行役社長に求められる要件および指名委員会での検討プロセス

指名委員会ならびに取締役会で討議した結果、創業以来当社グループが築いてきた強みと見直すべきことの両面を十分理解し、強いリーダーシップのもと全社一丸となって成長と変革を着実に進めることが必須であることを前提とし、マネージメント・プラットフォームの中核となる次の経営トップに求める要件は下記のとおりとなりました。

- ① 事業成長と企業価値向上のビジョン・ゴールと道筋を明確に示し、社員にコミュニケーションし、実行すること
- ② 大きな飛躍を目指せるリーダーシップチームを構築し、一体感のあるグローバル事業運営を行い、円滑な事業運営をトップとしてリードすること
- ③ 人的資本、組織能力を強化すると共に、活気ある職場づくりなどにより従業員のエンゲージメントを高め、組織のフルポテンシャルを発揮し、成長に向けた新たな組織、企業文化を作るべくリーダーシップを発揮すること
- ④ 取締役と執行役がそれぞれの役割を認識し、信頼感に基づく適度な緊張関係と協力関係のもと、事業価値の向上やガバナンスの強化をとともに実現するとともに様々なステークホルダーとの良好な関係を構築すること

新たな代表執行役社長の指名については、内部の候補者ならびに直近のトップリーダーを担える外部人材登用にあたっての最終候補者プールとの比較を行いました。渡部 眞也については1年9か月の取締役就任後の事業理解に基づく取締役会議長、戦略委員長としての取締役や執行役との意見交換・議論の状況をベースに上記要件を指名委員会で吟味いたしました。その結果、渡部 眞也は上記のリーダーの要件を満たしており、特質として、「強いリーダーシップ」、「グローバル企業での経営経験」、「チームづくりの経験」が挙げられると判断し、最終的に渡部 眞也を次期代表執行役社長候補とすることを指名委員会として決定し、取締役会宛に提案後、決議されました。

5. 代表執行役社長に就任する渡部 眞也および新たな執行体制

渡部 眞也は株式会社日立製作所において大型コンピュータの開発からキャリアをスタートし、2012年以降は同社執行役常務として情報通信システム社 CSO 兼 CIO、日立コンサルティング（米国）会長、ヘルスケア社社長、Smart Transformation 強化本部長を務めるなど日本を代表する企業で事業マネージメントや経営に従事し、企業変革の一翼を担ってきました。また、2015年以降は産業団体や政府委員などの公職を通じて、わが国の医療機器・ヘルスケア産業の活動に幅広く関わってきました。

こうした幅広い知見を背景に、2022年に当社社外取締役に就任し、社外取締役の立場からグローバル企業としての持続的な成長への貢献に尽力しています。2023年には取締役会議長および戦略委員会委員長に就任し、取締役会の合理化や執行側との意見交換・議論を本格化し、当社事業の本質を深く理解しつつ、今後の成長に向けてのビジョンを固めつつあります。それ故に、強力なマネージメント・チームを組成し、大胆な「マネージメント・プラットフォーム改革」とそれをベースにした開発・生産・営業のプラットフォーム改革を大胆に推進できる人物と考えます。

また、執行役会長に就任する齊藤 雅彦は、当社業績を牽引する製品の柱である眼科ナイフ開発の最大の功労者であり、これまでに当社で製品開発を担ってきたキャリア、すなわち「世界一を目指すモノづくり」を最大限に発揮し、新製品開発や人材育成にさらに積極的に取り組みます。加えて、スマートファク

トリー計画をリードしていくなど当社グループの価値創造の原点を強化する役割を果たすことにより、新代表執行役社長をサポートします。

渡部 真也からのメッセージ



新たな代表執行役社長就任の命を受け、職務の重責に身が引き締まる思いです。私は2022年11月以降、社外取締役として経営に参画をしてきました。マニーは1956年の創業以来、患者と医師の役に立つ製品を作り出すことを追求し、微細加工における卓越した技術を競争力の源泉として、グローバルにビジネス展開を進めることで成長をしてきました。中堅企業では経営リソースに制約がありつつも、絶対に負けない3つの「こだわり」(製品戦略へのこだわり、「世界一」へのこだわり、ガバナンスへのこだわり)に集中し、また、「科学する心で熱心に粘り強く」取り組んできたことが、持続的な成長と高収益につながっています。社会に貢献し資本市場からも評価される会社であることを私は誇りに感じ、これを築いてきた創業家、経営陣や社員の努力に敬意と感謝の意を表したいと思います。

企業の持続的な成長のためには、現状の成果に甘んじることなく、平時から変革を行い新たなチャレンジを継続していくことが重要です。マニーでは2021年度からの5か年中期経営計画で「開発型ニッチ企業の集合体」からビジネスモデルの変革を進めています。まずはこれを完遂するとともに、2026年以降もフルポテンシャルを発揮し大きく飛躍する時期を迎えているとの認識のもとで、さらなる成長を目指していきます。マニーをあらゆるステークホルダーにとって魅力ある会社とし、「真のグローバル企業」へ進化させることで皆さまからの期待に応えていく所存です。

略歴

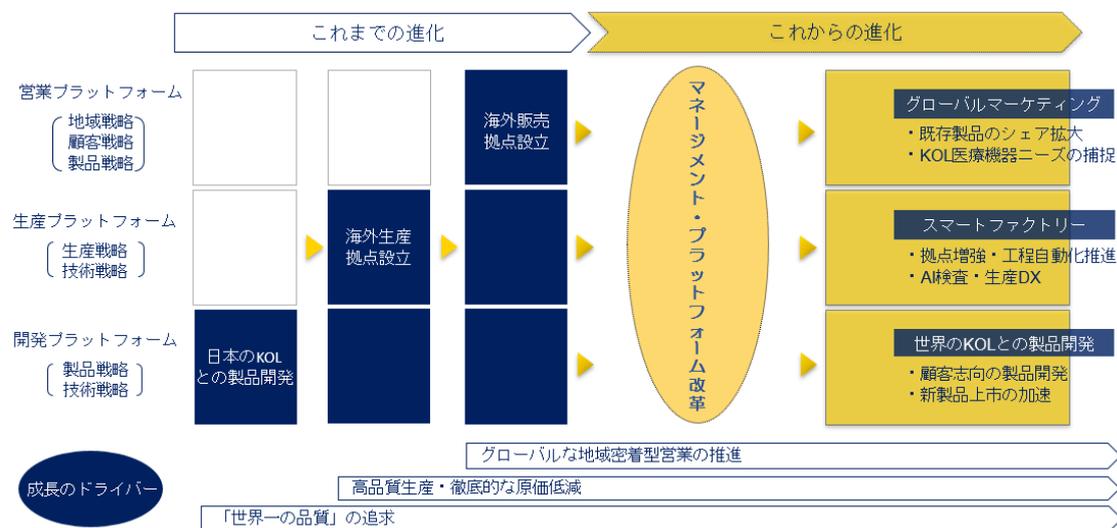
生年月日	略歴	所有株式数
1958年 1月31日 生	1982年 4月 ㈱日立製作所入社 2007年 4月 同社エンタープライズサーバ事業部長就任 2009年 3月 日立グローバルストレージテクノロジーズ社(米国) 取締役チーフストラテジスト就任 2012年 4月 ㈱日立製作所執行役常務 情報・通信システム社 CSO 兼 CIO 就任 2014年 4月 同社執行役常務 日立アメリカ社(米国) 取締役社長兼日立コンサルティング(米国) 会長 就任 2015年 4月 同社執行役常務 ヘルスケア社社長就任 2017年 6月 一般社団法人医療機器産業連合会会長就任 2019年 4月 ㈱日立製作所執行役常務 CISO 兼 Smart Transformation 強化本部長就任 2020年 6月 みらかホールディングス㈱(現 H.U.グループホールディングス㈱) 取締役 兼代表執行役副社長 COO&CIO 就任 2021年 6月 H.U.グループホールディングス㈱最高顧問 2022年 11月 当社社外取締役就任(現任) 2023年 1月 ㈱CROSS SYNC 社外取締役就任(現任) 2023年 8月 内閣府日本医療開発機構審議会委員就任(現任) 2023年 11月 当社取締役会議長就任 2024年 1月 愛媛大学医学系研究科ヘルスケアデータサイエンス講座客員教授(現任)	100

ご参考

2021年4月に発表した中期経営計画と各プラットフォーム（マネジメント・プラットフォーム改革について加筆した概要図）

ビジネスモデルの変革：「進化するマニー」

- ・ 「世界一の品質」を文字通り「世界のすみずみ」へ→「企業理念」の実現
- ・ 「開発型ニッチ企業の集合体」から「真のグローバル企業」へ



以上